

平成28年度
熊本県「生きる力」を育む研究指定校（心の教育研究推進校）

研究主題

「乙女の宝」を育てる ～向き合い 考える道徳教育の創造～



「乙女の宝」とは

ふるさと乙女を愛し、心身ともにたくましく、自ら学ぶ意欲を持った子どもたちが、「乙女の宝」です。

乙女小学校では、心豊かで「自立」と「社会参加」ができる子どもの育成をめざしています。

甲佐町立乙女小学校

☆研究の構想☆

児童の
実態

本校の教育目標
ふるさと乙女を愛し、
心身ともにたくましく、
自ら学ぶ児童の育成

保護者の願い

教師の願い

重点努力事項

- ・豊かな心（精神上的の自立）～自分を大切に、他の人も大切にする～
- ・確かな学力（学習上の自立）～自分で考え、自分で判断する～
- ・健やかな体（生活上の自立）～自分の命（心と体）は自分で守る～

研究主題

「乙女の宝」を育てる
～向き合い 考える道徳教育の創造～

本校の道徳教育重点目標

- 目標を立て、ねばり強くやり遂げる。
- 友だちと互いに理解し、信頼し、助け合う。
- 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。

研究の仮説

道徳の時間を中心に、「授業研究」「環境整備」「地域連携」の3つの視点から工夫を行えば「乙女の宝」として豊かな心を育てることができるであろう。

各教科・特別活動・外国語活動・総合的な学習の時間

生徒指導・学級経営

道徳性

研究の仮説

<視点1> 授業研究

- ・「特別の教科 道徳」（道徳科）の趣旨・内容を踏まえた授業を実施するにあたり、多様な指導方法の活用を図れば、自己を見つめ、生き方について考えを深めることができるだろう。
- ・継続的に「道徳ノート」の活用を図れば、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握し、指導や評価に生かすことができるだろう。

<視点2> 環境整備

- ・掲示物を工夫し、「乙女の宝集会」を通して異学年間の交流を図れば、道徳の時間と生活をつなぐことができるだろう。

<視点3> 地域連携

- ・「熊本の心」を活用した道徳の授業を地域や保護者に公開し、GT（ゲストティーチャー）として参加や協力をしてもらうことで、家庭や地域とよりつながることができるだろう。

☆研究の実際☆ <視点1> 授業研究

授業作りのための乙女スタイル

本校では、「向き合い」「考える」道徳教育を創造するための要としての道徳の授業の基本的な考え方を乙女スタイルとして設定した。

向き合う

「道徳的価値」と向き合う

課題（めあて）の提示

「自分」と向き合う

明確な意思表示

他者の感じ方や考え方と向き合う

話し合い活動

考える

資料をもとに考える

発問の工夫

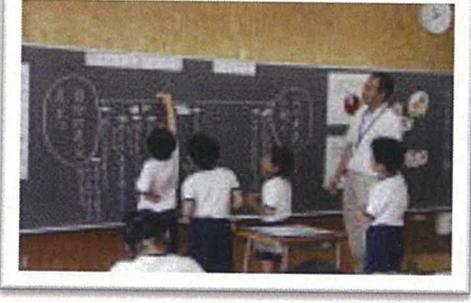
自分との関わりを考える

「自分」を振り返る時間の確保

多様な指導方法の活用

3年 自分でよく考えて 内容項目A 節度・節制 資料名「ロバを売りに行く親子」

■本時のねらい：自分でよく考えて行動し、節度のある生活をしようとする態度を育てる。

学習活動	授業の実際
<p>1 資料「ロバを売りに行く親子」を読み、考える。</p> <p>課題（めあて）の提示</p> <p>2 発見した問題点について話し合う。</p> <p>明確な意思表示</p> <p>発問の工夫</p> <p>話し合い活動</p>	<p> この親子のしたことをどう思いますか。</p> <p></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちと資料を関連付けるため、事前のアンケートの結果を示した。 2つの考え方を示し、自分はどちらの考え方に近いのか、ネームカードで意思表示ができるようにした。 <p style="text-align: center;">中心発問：「なぜそう思いましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳ノートに、自分の考えや友だちの意見メモなどを書き込むようにした。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="435 1037 898 1249"> <p>人の意見を聞きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 注意してもらって時間を守れるようになったから。 正しくない意見を聞いたら大変なことになるから。 </div> <div data-bbox="898 1115 962 1171"> <p>⇔</p> </div> <div data-bbox="962 1037 1457 1249"> <p>自分の考えで行動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分でできることは一生懸命やりたいから。 自分でできるか、人に聞くかを考えて行動したいから。 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと比べながら聞くことで、異なる考えにふれさせた。自己を見つめ自分の考えを深めることにつなげるようにした。 <p> 自分でよく考えて行動するとは、どんなことだろう。</p>
<p>3 「自分」を見つめる。</p> <p>「自分」を振り返る時間の確保</p>	<p></p> <p></p> <ul style="list-style-type: none"> お母さんやおばあちゃんに言われてお手伝いをしていた。最初はきつかったけど、自分で進んでしたら楽しくなってきた。 人に頼ることが多かったから、自分で考えてやっていきたいと思う。 <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや具体的な経験を発表し合うことにより、これからの自己の生き方について考えるようにした。

授業を終えて

資料から課題を見つけ、自分は2つの意見のうちどちらの意見に近いのか意思表示をはっきりさせながら話し合いに臨むようにしました。友だちの多様な考えにふれ、自分との関わりの中で生活を振り返ることができました。

「道徳ノート」の活用

内容項目と対応させて ワークシートを分類・整理

「どんな内容項目について考えたことなのか」が分かるように、ワークシートを内容項目ごとに色分けして分類し、「道徳ノート」に貼り付けています。



蓄積と継続

前年度の「道徳ノート」は、学年が上がっても引き継がれています。これにより子どもたちの心の変容を見ることができるようになりました。心の変容の経緯を残すことで、自己の成長を実感することができると思っています。

日常生活や他教科の学習との つながりが「見える」

関連する他教科の学習シートやお礼の手紙なども貼り付けています。また、感想やメモを書き込んだりすることで、道徳の時間とのつながりが見えるようにしています。

<視点2> 環境整備

掲示物（道徳コーナー）の工夫



ワークスペースの道徳コーナー



教室の道徳コーナー

学習した資料の挿絵を「道徳ノート」の分類と同じ色ごとに分類して掲示しています。

「乙女の宝集会」を通した異学年間の交流



感想や考えを交流



道徳の時間に考えたことを発表

「乙女の宝集会」では、道徳の時間に勉強したことを学年ごとに発表しています。発表の後、全校児童で感想や考えを交流しています。

<視点3> 地域連携

「熊本の心」を活用した道徳の授業公開

保護者や地域の方々に来校していただき、全学年で「熊本の心」を活用した道徳の授業参観を行いました。

参加型の授業も実施しました。



GT（ゲストティーチャー）の活用



道徳の時間や全校集会に乙女小校区の方にGT（ゲストティーチャー）として来ていただき、話を聞きました。

☆成果と課題☆

- 「向き合い」「考える」乙女スタイルの道徳の授業に取り組んだことで、単なる話し合いや登場人物の心情の読み取りではない道徳の授業へと質的転換を図ることができた。児童が自分を見つめ、生き方について考えを深めるきっかけになっている。
- 「道徳ノート」を継続し蓄積することで、児童の心の変容や成長の跡を残すことができ、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握することができるようになった。
- 環境整備や地域連携に取り組むことで、道徳の授業だけでなく、学校教育活動全体で進める道徳教育であることを教師が実感し、地域にも発信することができた。
- ▲多様な指導方法の活用を進める中で、資料を大切にすることの必要性が、実践を通して改めて感じられた。
- ▲道徳の教科化に向けて、子どもたちの心の変容の把握や評価の方法が課題と考える。本校では、「道徳ノート」を効果的に活用することで、児童がいかに成長したかを受け止め、励ますことができるように研究を進めていきたい。